



第13期 報告書

平成27年4月1日 ▶ 平成28年3月31日

サクサ ホールディングス株式会社

証券コード 6675

株 主 各 位

平成28年6月29日

東京都港区白金一丁目17番3号NBFプラチナタワー
サクサ ホールディングス株式会社
代表取締役社長 松尾 直樹

第13回定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第13回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告および決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

報 告 事 項 1. 第13期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

2. 第13期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)計算書類報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決 議 事 項

第1号議案 剰余金の配当の件
本件は、原案どおり承認可決されました。
(期末配当は、1株につき3円と決定いたしました。)

第2号議案 当社株式の大量取得行為に関する対応策(買収防衛策)の導入(更新)の件
本件は、原案どおり承認可決されました。

第3号議案 取締役7名選任の件
本件は、原案どおり松尾直樹、木村廣志、大坂貢および磯野文久の4氏が再任されたほか、新たに

中村耕児、井上洋一および山本秀男の3氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、山本秀男氏は、社外取締役であります。

第4号議案 監査役2名選任の件

本件は、原案どおり江藤進および清水建成の両氏が選任され、それぞれ就任いたしました。
なお、清水建成氏は、社外監査役であります。

第5号議案 補欠監査役2名選任の件

本件は、原案どおり紙野愛健および山崎勇人の両氏が選任されました。

なお、紙野愛健氏は社外監査役飯森賢二氏の、また、山崎勇人氏は社外監査役清水建成氏の、それぞれ補欠監査役であります。

第6号議案 役員賞与支給の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

以 上



代表取締役社長 松尾 直樹

株主の皆様には、平素よりサクサグループに対しまして、格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、代表取締役社長に就任いたしました松尾直樹でございます。今後はサクサグループの更なる発展を目指して一層努力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、ここに当社第13期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)における事業の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

当事業年度のわが国の経済は、政府の経済政策や金融緩和により景気は緩やかな回復基調で推移してきました。

しかしながら、海外においては、米国経済が回復傾向にあるものの中国や新興国の景気減速の懸念、また国内では、金融市場の動向などの変動リスクもあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中で、サクサグループは、「持続成長可能な事業への転換」および「あるべき姿に向けた収益構造への変革」を基本方針とした、平成27年度から29年度までの3か年を計画期間とする中期経営計画を策定し、事業の拡大と経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

「事業の拡大」につきましては、当社が目指す成長戦略に沿った市場に対して、コアコンピタンスである音声と情報通信を融合させた情報通信ネットワーク関連システムに、センシングや映像蓄積などの新技術を加え、お客様が求めている製品の提供やシステムおよびサービスの実現を目指してまいりました。

具体的な取組みとして、オフィス市場向けに小規模オフィス向けIP対応キーテレホンの機能を強化したビジネスコミュニケーションシステム「ActysⅢ(アクティスⅢ)」の発売を開始し、「Office AGENT」シリーズを拡充するとともに、ネットワークセキュリティへの関心の高まりに伴う需要に対応するためUTM(統合脅威管理アプライアンス)「SS3000」の拡販を図ってまいりました。

また、法人向け光アクセスサービス「サクサ光」の提供により、インターネット接続サービスとサクサ製品のワンストップでの提供を進めてまいりました。

今後もIoT (Internet of Things)、クラウドサービス、映像ソリューション等に対応し「Office AGENT」シリーズの拡充を進めてまいります。

システムインテグレーション事業の展開は、VoIP (Voice over IP) ソリューションの販売に加え、クラウドやIoT時代の到来によるサービスの高度化に対応すべく取組んでまいりました。

具体的な取組みとして、サクサグループの強みであるシステムインテグレーション事業のスキームを活用し、交通事業者様向けシステムや企業向けデータ連携ソリューション等、お客様のニーズにお応えする業務系のシステムをスピーディに提供してまいりました。

また、テロや犯罪および災害等社会的な不安に対するセキュリティへの関心の高まりによるネットワークカメラの需要に対して、画像解析技術や画像圧縮技術を活かした長時間録画やクラウド対応などでお応えし、安心で安全な社会を支えるサービスの提供を進めてまいります。

「経営基盤の強化」につきましては、安定した収益体質を構築するための組織および要員の適正化や外部流出費用の徹底した削減に取組むため、グルー

プガバナンスの強化と組織機能の効率化のためのグループ機能の最適化を4月に、また要員の適正化を7月末に実施し、当初の想定どおりの効果が出ました。

引き続き財務体質の強化や人材の質的転換を進め、目標とする経営指標(売上高550億円以上、経常利益30億円以上、ROE早期に5%以上)を平成29年度までに実現すべく取組んでまいります。

当事業年度の売上高は、加工受託の減少はありましたが、マイナンバー制度の施行に伴うネットワークセキュリティ機器の受注の増加やシステム受託開発などシステムインテグレーション事業の受注増加により463億7千9百万円(前期比6.2%増)となりました。

利益面では、為替変動の影響はありましたが、売上高の増加や総原価低減の取組み効果等により経常利益は16億7千8百万円(前期比94.6%増)となりました。また、退職給付信託設定に伴う特別利益の計上はありましたが、要員の適正化のための施策を含めた経営構造改革費用を特別損失に計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は5億2千万円(前期比81.3%増)となりました。

今後とも株主の皆様のご期待にお応えするため、なお一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご支援、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

昨年5月に公表した平成27年度から平成29年度までの3か年を計画期間とする中期経営計画の初年度が経過いたしました。

引き続き「持続成長可能な事業への転換」と「あるべき姿に向けた収益構造への変革」を基本方針とし、中期経営計画の目標である平成29年度に連結売上高550億円以上、連結経常利益30億円以上、ROE早期に5%以上を目指してまいります。

中期経営計画の各年度の位置づけ

(目標)

連結売上高 : 550億円以上

連結経常利益 : 30億円以上

ROE : 早期に5%以上

平成29年度

(中期経営計画基本方針)

- 持続成長可能な事業への転換
- あるべき姿に向けた収益構造への変革

中期経営計画目標の達成

平成28年度

(予想)

連結売上高 : 475億円

連結経常利益 : 21億円

ROE : 4.2%

成長軌道への回帰

平成27年度

(実績)

連結売上高 : 464億円

連結経常利益 : 17億円

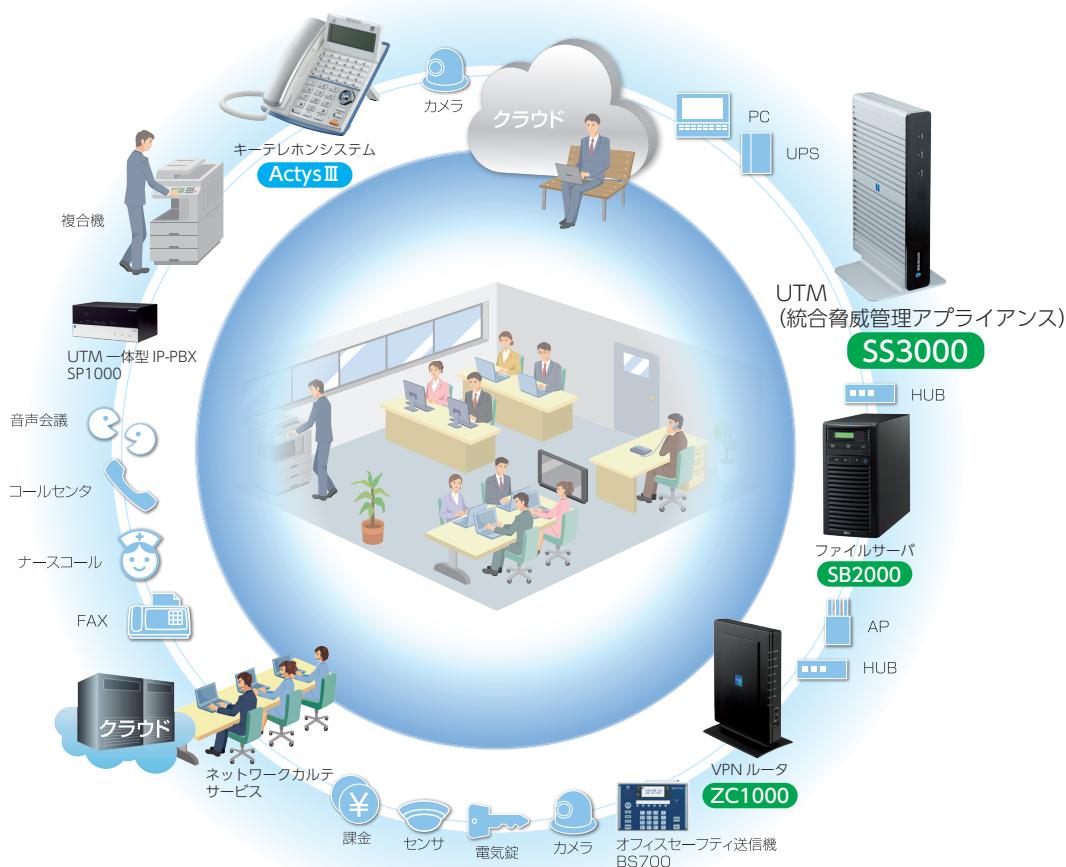
ROE : 2.3%

事業成長に向けた収益体質の
経営基盤構築

SS3000 [UTM(統合脅威管理アプライアンス)]

「SS3000」は、ウイルス感染、スパイウェア、不正侵入およびフィッシング、さらにサイバー攻撃等のネットワーク上の脅威に対してリスクを低減させます。また、ソーシャルメディアへのアクセスの禁止やインターネットの閲覧履歴の把握が可能となる製品です。

平成26年11月の販売以降、マイナンバー制度の施行もあり、お客様のセキュリティ意識の高まりから好評を博しております。



Office AGENT

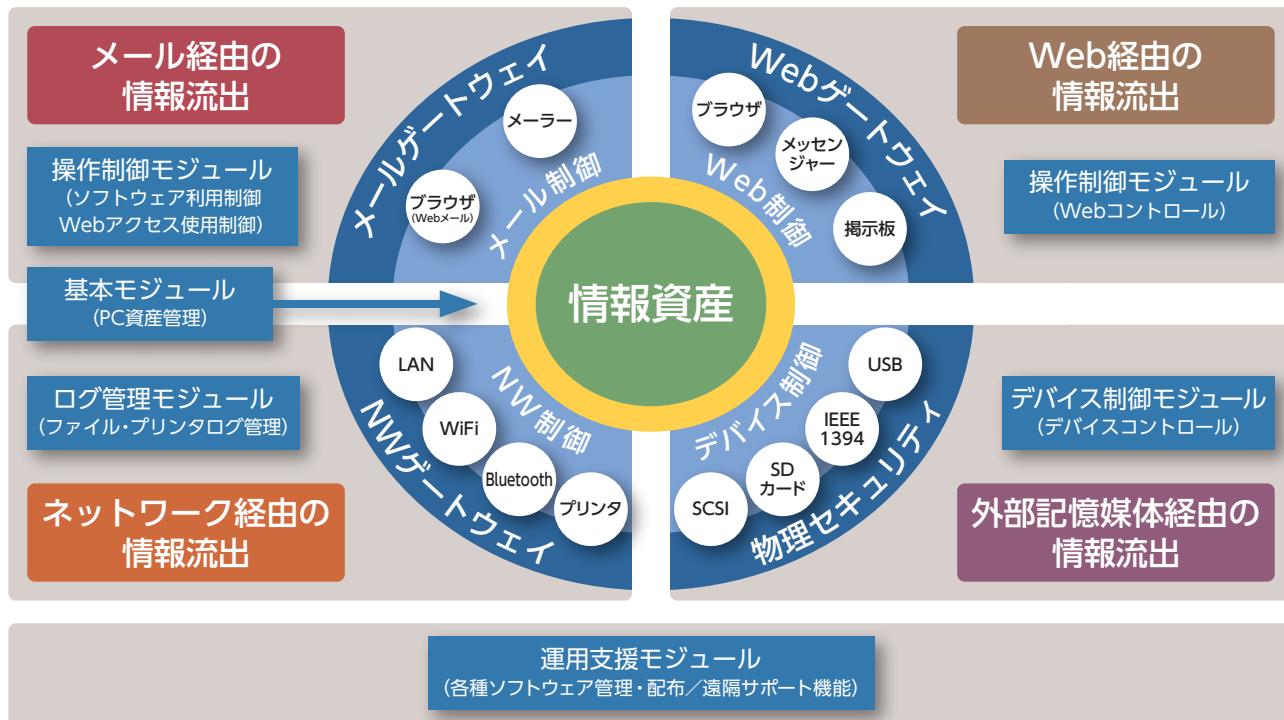
サクサの「Office AGENT」シリーズは、サクサが情報システム部門のない中小規模オフィス向けにご提供する、オフィス運営代理人システムです。サクサのオフィスソリューション提供ノウハウを集結し、ネットワーク商材を連携させることで、お客様の「お困りごと」をスピーディに解決いたします。

360度包囲のオールインワンPC資産統合管理、クラウドサービスを開始

～情報セキュリティをクラウド環境で統一管理 情報システム部門の管理低減～

サクサ株式会社は、企業内の膨大なPC資産の統合管理をクラウドで提供するソリューション「MCS Global Cloud」(Managed Client Security) サービスを平成28年5月から提供開始いたしました。「MCS Global Cloud」は機器設備としてのハードウェア管理だけではなく、メール経由の情報流出、Webやネットワーク経由の情報流出および外部記憶媒体経由の情報流出など、利用するそれぞれのPCのソフトウェアや接続も含めた情報セキュリティの管理が可能となります。

360°包囲するセキュリティ対策機能

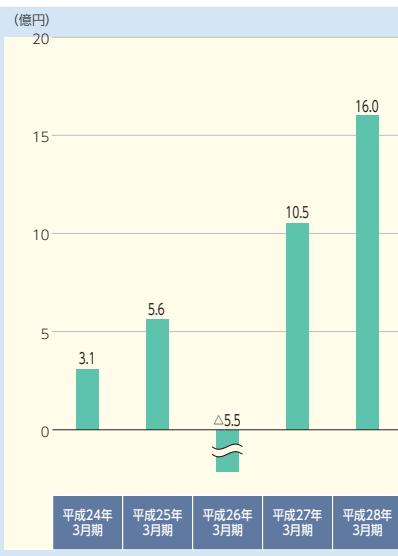


連結業績ハイライト

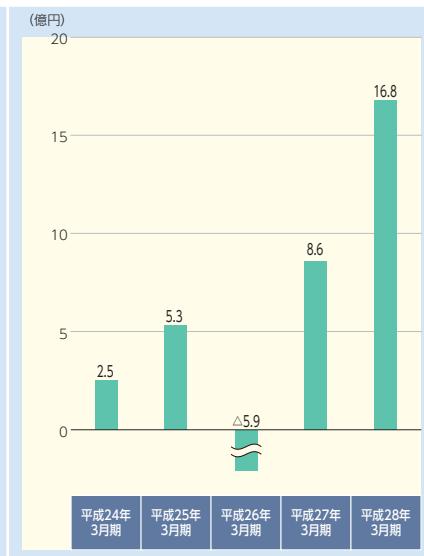
売上高



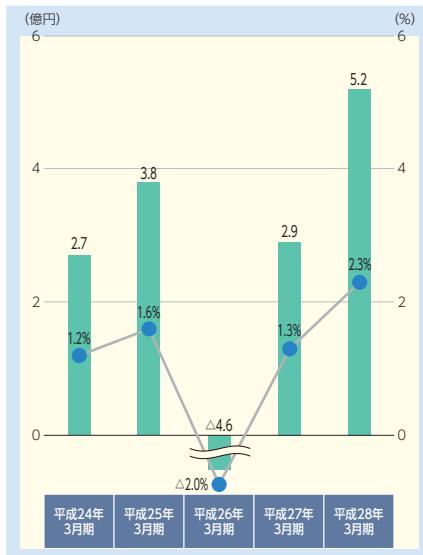
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益 ● ROE



総資産 ● 純資産



1株当たり当期純利益 (左目盛) ■ 1株当たり純資産 (右目盛)



※ グラフの数値については、表示単位未満を四捨五入しております。

連結財務諸表(要約)

●連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (平成27年3月期)	当期末 (平成28年3月期)
(資産の部)		
流動資産	23,738	25,231
固定資産	19,944	17,355
有形固定資産	9,998	9,688
無形固定資産	4,020	3,035
投資その他の資産	5,926	4,631
繰延資産	18	10
資産合計	43,701	42,597
(負債の部)		
流動負債	12,608	11,908
固定負債	8,212	8,457
負債合計	20,820	20,365
(純資産の部)		
株主資本	21,498	21,705
資本金	10,836	10,836
資本剰余金	6,023	6,023
利益剰余金	5,812	6,023
自己株式	△1,173	△1,177
その他の包括利益累計額	1,232	371
非支配株主持分	149	155
純資産合計	22,880	22,232
負債純資産合計	43,701	42,597

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期 (平成27年3月期)	当期 (平成28年3月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,922	2,411
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,577	△1,687
財務活動によるキャッシュ・フロー	△262	206
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	5
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	81	935
現金及び現金同等物の期首残高	6,188	6,270
現金及び現金同等物の期末残高	6,270	7,205

※連結財務諸表の各数値については、表示単位未満を切捨てて表示しております。

●連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期 (平成27年3月期)	当期 (平成28年3月期)
売上高	43,677	46,379
売上原価	33,955	36,363
売上総利益	9,722	10,015
販売費及び一般管理費	8,677	8,413
営業利益	1,045	1,602
営業外収益	266	217
営業外費用	448	141
経常利益	862	1,678
特別利益	50	403
特別損失	83	967
税金等調整前当期純利益	829	1,114
法人税等	545	573
当期純利益	283	541
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△3	20
親会社株主に帰属する当期純利益	287	520

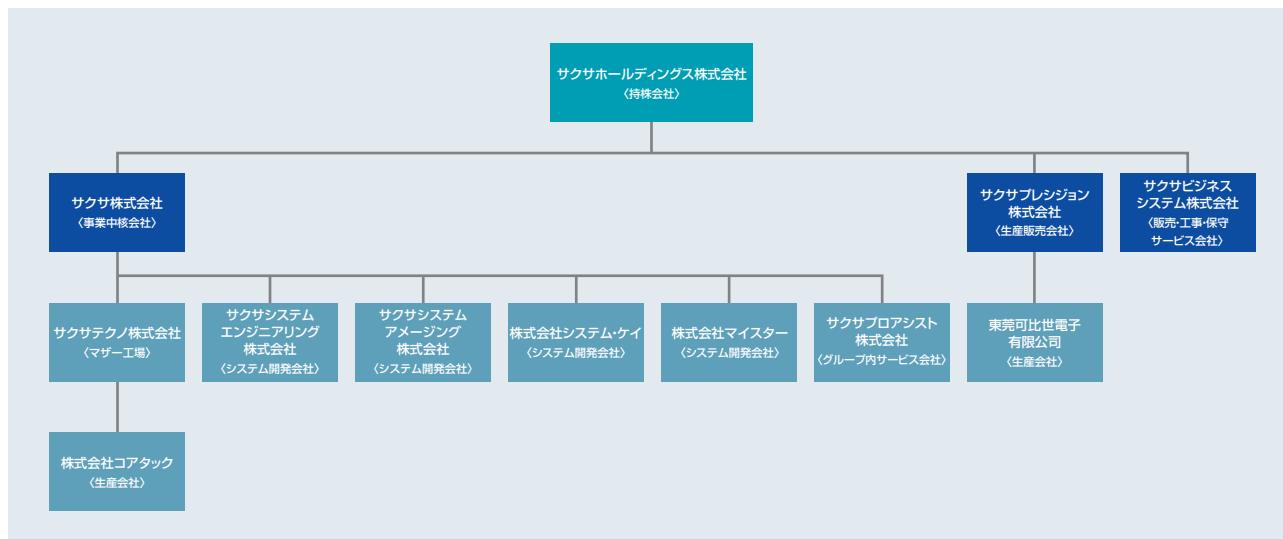
●連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	前期 (平成27年3月期)	当期 (平成28年3月期)
当期純利益	283	541
その他の包括利益	775	△862
包括利益	1,059	△321

グループ会社および当社の概要

● サクサグループ(12社) (平成28年4月1日現在)



● サクサ ホールディングス株式会社 (平成28年3月31日現在)

設立年月日 平成16年2月2日

資本金 10,836,678,400円

従業員数 1,111名(連結)、31名(単独)

本社 東京都港区白金一丁目17番3号 NBFプラチナタワー

事業内容 情報通信システムの機器および部品の開発、製造および販売を主として行う子会社の経営管理等

取締役および監査役 (平成28年6月29日現在)

代表取締役社長	松尾 直樹	取締役	中村 耕児 (新任)	常勤監査役	江藤 進 (新任)
専務取締役	鈴木 譲	取締役	井上 洋一 (新任)	監査役	羽鳥 勝彦
常務取締役	磯野 文久 (昇任)	取締役	布施 雅嗣	監査役	飯森 賢二
取締役	木村 廣志	取締役	小口 喜美夫	監査役	清水 建成 (新任)
取締役	大坂 貢	取締役	山本 秀男 (新任)		

※1. 布施雅嗣、小口喜美夫および山本秀男の3氏は、社外取締役であります。また、小口喜美夫および山本秀男の両氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。
 ※2. 飯森賢二および清水建成の両氏は、社外監査役であります。また、両氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。

株式の状況

- 発行可能株式総数 240,000,000株
- 発行済株式の総数 62,449,621株
- 株主数 7,265名

大株主

株主名	持株数	持株比率
沖電気工業株式会社	8,060千株	13.7%
日本電気株式会社	2,360千株	4.0%
株式会社みずほ銀行	2,339千株	3.9%
株式会社三井住友銀行	1,767千株	3.0%
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,683千株	2.8%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	980千株	1.6%
株式会社三菱東京UFJ銀行	959千株	1.6%
みずほ信託銀行株式会社	900千株	1.5%
サクサグループ従業員持株会	858千株	1.4%
三井住友海上火災保険株式会社	773千株	1.3%

※1. 当社は、自己株式3,712千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

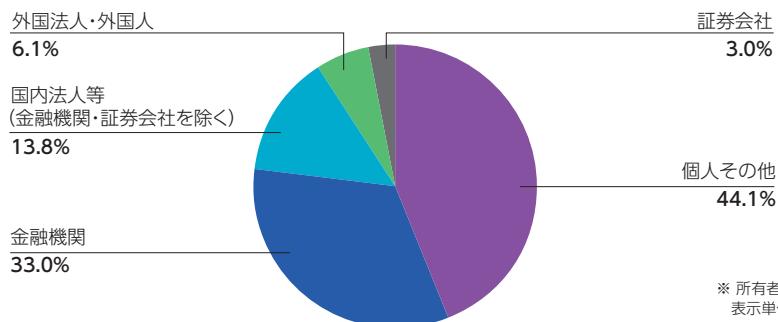
※2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。

※3. 沖電気工業株式会社の持株数には、沖電気工業株式会社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式6,059千株を含んでおります。
(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 沖電気工業口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)

※4. 株式会社みずほ銀行の持株数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式1,778千株を含んでおります。
(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)

※5. 持株数については、表示単位未満を切り捨て、持株比率については、表示単位未満を四捨五入しております。

所有者別分布状況



※所有者別分布状況に記載の数値については、表示単位未満を四捨五入しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
期末配当の基準日	3月31日	
定時株主総会	6月	
基準日	3月31日 その他、必要があるときは、あらかじめ公告して定める日とします。	
公告掲載URL	http://www.saxa.co.jp/ ※ 当社の公告の方法は、電子公告としております。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。